

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測







◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP		Sui		Polygon		Render
中堅		Maker		Stacks		Injective
新規						

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 4/25

本分析ガイドは、Coinmarketcap (CMC) サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#11	 Sui	Layer1	¥1,409,611,911,506	¥433.72	7.68倍 (SOL比)	▲44.66%
#43	 Polygon	Layer2	¥327,864,982,264	¥31.50	1.01倍 (MNT比)	▲22.52%
#44	 Render	DePIN	¥322,695,696,245	¥623.30	1.27倍 (TAO比)	▲13.81%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap (CMC) で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲11.16%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Sui : SUI



本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：ギリシャ証券取との提携でブロックチェーン活用進展、需要の長期拡大期待

4/16 Suiはギリシャ証券取引所グループと共同で、株式の新規資金調達プロセスをブロックチェーン上で実施するプラットフォーム構築を発表し、構築フェーズへ移行を宣言。実際の金融市場での本格的な採用は、Suiブロックチェーンの信頼性と実需を大幅に高めると予測され、トークン需要もそれに伴い持続的に増加する可能性が高い。短期的な反応としてすでに投資資金の流入が確認されているが、中長期的には金融機関の継続的な参入が期待できる。国家レベルでの採用という事実はSuiプロジェクトの競争優位性を示し、トークンの長期的な価値を下支えする強力な材料になると評価できる。

Polygon : POL

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：POLの新報酬構造が発表され、複数チェーンの需要がPOL価値向上を後押し
Polygon Labsは新トークンPOLに関して、チェーン間の取引決済や検証活動に参加する ステーキング報酬の仕組みを公表した。この新構造により、POLトークン保有のインセンティブが明確化され、エコシステム内で複数のチェーンを活用するほどトークン収益が増える設計となっている。短期的にはこの報酬メリットを求めた投資家の関心が集まり価格を下支えすると予測され、中長期的には複数のチェーンの利用拡大により安定的なPOL需要が生まれやすい。このネットワーク効果が長期的な価格成長を促進する材料となり、トークン価値の持続的向上が期待できる。

Render : RNDR

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：AI分野への拡張で需要拡大が見込まれ、RNDRトークン価値の中長期的な向上へ
Render Networkは新提案「RNP-019」を通じて、GPUを用いた画像処理だけでなくAI関連の分散型計算処理サービスへと用途を拡大することを決定した。このアップデートは、AI分野での新たな需要創出や企業とのパートナーシップ増加につながり、Renderネットワークの利用範囲を広げることになる。短期的にもAI関連市場への期待感から価格上昇が見込まれ、中長期的にはAI用途による新規収益と持続的なトークン需要拡大が期待できるため、RNDRの価格安定と持続的な成長を支える重要な材料となる可能性が高い。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 4/25

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#58	 Maker	Lending	¥175,860,236,755	¥209,492.35	1.96倍 (AAVE比)	▲7.98%
#60	 Stacks	Bitcoin Ecosystem	¥163,454,995,219	¥107.33	—	▲28.01%
#70	 Injective	Layer1	¥133,439,150,653	¥1,334.77	81.14倍 (SOL比)	▲19.05%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲11.16%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Maker : MKR

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：RWA10億ドル投下でDAIの土台強化へ

3/18、MakerDAO は Tokenization Grand Prixとして最大10億ドルをRWAに振り向ける計画を発表（BlackRock BUIDL 5 億ドル、Superstate USTB 3 億ドル、Janus JTRSY 2 億ドル）。4/18には 同配分を実装するエグゼクティブ提案が実行され、初回デポジット設定が完了。さらに4/21にはSparkのUSDC/USDT金利引き下げ案が投票入り。短期は利回り期待による買い優勢、中長期はRWA収益がDAI（ステーブルコイン）の価値がより安定し、そこから得られる手数料でMKRを買い戻して減らすという流れが期待できる。ただし金利低下や規制変更は逆風。

Stacks : STX

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。



注目ポイント：ビットコイン資金を呼び込む「sBTC解禁」元年

4/22、カスタディ大手BitGoがビットコイン裏付け資産 sBTC の機関向け保管・変換を開始し、BTC資金がStacks層へ入りやすくなった。短期的には注目され出来高が増えSTX買いが先行する可能性。中長期では機関マネー流入と今後予定される sBTC直接引出機能がBTC-DeFiを拡大し、ネットワーク手数料とステーキング需要の増加→STX価値押上げが本線。ただし実装遅延が続くと失望売りの懸念も残る。

Injective : INJ

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：高速化×可変バーンで“デフレチェーン”を狙うINJ

4/22、コミュニティ100%賛成でメインネットアップグレード「Lyora」を有効化。ブロック遅延30%減・処理2倍へ向上し、同時に導入された「INJ 3.0」の可変バーン率が取引増と連動してデフレ圧力を高める。短期的には高性能化とバーン期待で投機資金が流入しやすい。中長期では dApp手数料拡大とRWA市場参入で週次バーンがミントを上回れば実質デフレチェーンへ転換し、INJの希少価値が増幅する可能性が高い。ただしバーン実績が伸び悩めば調整も。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 4/25

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から800位に位置する銘柄を調査し、成長性の高いものに「Goodマーク」を付与する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄における「Goodマーク」は、TOPや中堅銘柄の「Goodマーク」とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間 のCMC推移
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo-i-platform.co.jp/>